



# 通信拡張ライブラリマニュアル

このマニュアルは、通信拡張ライブラリの仕様について記載します。

#### **ご注意**

- このソフトウェアおよびマニュアルの、一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
- このマニュアルの著作権はカシオ計算機株式会社に帰属します。
- 本書中に含まれている画面表示は、実際の画面とは若干異なる場合があります。予めご了承ください。

© 2008 カシオ計算機株式会社

Microsoft, MS, ActiveSync, Active Desktop, Outlook, Windows, Windows NT, および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft 社の製品は、OEM 各社に、Microsoft Corporation の 100%出資子会社である Microsoft Licensing, Inc.によりライセンス供与されています。



# 目次

1. 概要	1
2. 動作環境	1
3. 機能一覧	2
3.1 ポートオープン中の電源OFF	2
3.2 外部電源供給	2
3.3 関数一覧	3
3.3.1 DeviceIoControl	4
3.3.2 DeviceIoControl	6

## 1. 概要

通信拡張ライブラリは、8 pin、拡張 14 pin および赤外線通信において、以下に 2 つの機能を提供するライブラリです。

- 通信ポートオープン中の電源 OFF

通信ポートをオープンしたとき、通常では電源キーを押下しても、端末の電源を OFF できません。

本機能を有効にすると、通信ポートをオープン中でも、端末の電源を OFF できます。

- 外部デバイス電源供給

シリアル通信ポートは、通常では接続先のデバイスが電源を持っているので、端末から電源を供給することができません。

本機能を有効にすると、接続先のデバイスに電力を供給することができます。

## 2. 動作環境

通信拡張ライブラリの動作環境を以下に示します。

### 対象機種

- DT-9800

### 対象 OS

- Microsoft Windows CE 5.0

### 開発環境

- Microsoft embedded Visual C++ Version 4.0 + SP4
- Microsoft Visual Studio 2005 + SP1
- Microsoft Visual Studio 2008

### 提供ファイル

- COMActivePweDef.h
- SerialDef.h

### 使用方法

- プログラムソース内に COMActivePweDef.h または SerialDef.h をインクルードしてください。

### 3. 機能一覧

#### 通信ポートの対応

機能	8pin シリアル	拡張 14pin シリアル	赤外線		
			Raw-IR	ASK	IrDA
通信ポートオープン中の電源 OFF	○	○	○	○	×
外部電源供給	○	○	—	—	—

#### 注意事項

本ライブラリは、Microsoft 標準関数である DeviceIoControl 関数を使用します。そのため、CreateFile 関数で使用する通信ポートをオープンしてから、使用してください。

本ライブラリは、ユーザアプリケーションへの拡張機能として提供します。端末に標準搭載している通信アプリケーション (ActiveSync 等) は、本ライブラリに対応していません。

#### 3.1 ポートオープン中の電源OFF

ポートオープン中の電源 OFF は、複数のポートを使用している場合でも使用可能ですが、電源 OFF を有効にするには、すべてのポートで、本機能を許可設定しなければなりません (各状況における本機能の有効/無効については、下表参照)。

状況	電源キーによる OFF
1 つの通信ポートを使用し、電源 OFF を許可設定にしている	○
複数の通信ポートを使用し、すべてのポートで電源 OFF を許可設定にしている	○
複数の通信ポートを使用し、一部のポートで電源 OFF を許可設定にしている	×

ポートオープン中の APO (オートパワーオフ) 機能は、本機能に影響しません。

#### 3.2 外部電源供給

本機能を用いて、接続先に電源供給をしているときに、端末の電源を OFF にすると、接続先への電源供給は停止します。再び端末の電源を ON にすると、電源供給を再開します。

拡張 14pin シリアルにおいては、本機能を使用する際に、同時に WakeOn 機能も有効にする必要があります。

### 3.3 関数一覧

関数名	機能	DT-5200	DT-X7	DT-9800
DeviceIoControl	電源 OFF の禁止/許可	-	-	○
	外部電源供給	-	-	○

○ 関数サポート

— 関数未サポート= 関数を呼ぶと未サポートエラーが返ります。

### 3.3.1 DeviceIoControl

電源 OFF の禁止/許可を通信ドライバごとに切替可能にします。

```
BOOL DeviceIoControl (  
    HANDLE          hDevice,  
    DWORD           dwIoControlCode,  
    LPVOID          lpInBuffer,  
    DWORD           nInBufferSize,  
    LPVOID          lpOutBuffer,  
    DWORD           nOutBufferSize,  
    LPDWORD         lpBytesReturned,  
    LPOVERLAPPED   lpOverlapped  
)
```

#### 説明

本関数は電源 OFF の禁止/許可を通信ドライバごとに切替可能にします。

Device Emulator では、機能しません。(エラーとなります)

#### パラメータ

*hDevice*

デバイスのハンドルを指定します。

*dwIoControlCode*

ポートオープン中の電源 OFF の禁止/許可を指定します。

IOCTL_COM_ENABLE_POWEROFF	: オープン中の電源 OFF を許可します
IOCTL_COM_DISABLE_POWEROFF	: オープン中の電源 OFF を禁止します
IOCTL_COM_GET_POWEROFF_SETTING	: 現在の電源 OFF 設定を取得します

*lpInBuffer*

NULL を指定してください。

*nInBufferSize*

0 を指定してください。

### *IpOutBuffer*

■ 設定時

NULL を指定してください。

■ 取得時

(in) 電源 OFF 設定を取得する DWORD のポインタを指定します。

(out) 現在の電源 OFF 設定を取得します。

- 1 : 電源 OFF 禁止 (デフォルト)
- 0 : 電源 OFF 許可

### *nOutBufferSize*

DWORD のサイズを指定します。

### *IpBytesReturned*

■ 設定時

NULL を指定してください。

■ 取得時

IpOutBuffer のサイズを取得する DWORD のポインタを指定します。

### *IpOverlapped*

NULL を指定してください。

## 戻り値

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

### 3.3.2 DeviceIoControl

シリアルボードに接続している外部デバイスに対する電源供給を操作します。

```
BOOL DeviceIoControl (  
    HANDLE          hDevice,  
    DWORD           dwIoControlCode,  
    LPVOID          lpInBuffer,  
    DWORD           nInBufferSize,  
    LPVOID          lpOutBuffer,  
    DWORD           nOutBufferSize,  
    LPDWORD         lpBytesReturned,  
    LPOVERLAPPED   lpOverlapped  
)
```

#### 説明

本関数はシリアルボードに接続している外部デバイスに対する電源供給を操作します。  
Device Emulator では、機能しません。(エラーとなります)

#### パラメータ

##### *hDevice*

デバイスのハンドルを指定します。

##### *dwIoControlCode*

外部デバイスへの電源供給を指定します。

IOCTL\_SERIAL\_SET\_POWER\_SUPPLY : 電源供給の制御を行います  
IOCTL\_SERIAL\_GET\_POWER\_SUPPLY : 電源供給の状態を取得します

##### *lpInBuffer*

###### ■ 設定時

電源供給指定を格納した DWORD のポインタを指定します。

- 1 : 外部電源の供給を開始します。サスペンド中の電源供給は行いません。レジューム時に、再度供給を開始します。
- 2 : 外部電源の供給を開始します。サスペンド中も電源供給します。(拡張 14pin のみ)
- 0 : 外部電源の供給を停止します。

###### ■ 取得時

0 を指定してください。

##### *nInBufferSize*

DWORD のサイズを指定します。

### *lpOutBuffer*

- 設定時

NULL を指定してください。

- 取得時

(in) 電源供給の状態を取得する DWORD のポインタを指定します。

(out) 現在の電源供給の状態を取得します (lpInBuffer 参照)。

### *nOutBufferSize*

0 を指定してください。

### *lpBytesReturned*

- 設定時

NULL を指定してください。

- 取得時

lpOutBuffer のサイズを取得する DWORD のポインタを指定します。

### *lpOverlapped*

NULL を指定してください。

## 戻り値

正常終了時は TRUE を、異常終了時は FALSE を返します。

## カシオ計算機お問い合わせ窓口

### 製品に関する最新情報

- 製品サポートサイト（カシオペア・ハンディターミナル）

<http://casio.jp/support/pa/>

### 製品の取扱い方法のお問い合わせ

- 情報機器コールセンター



**0570-022066**

市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHS 等をご利用の場合、**048-233-7241**

**カシオ計算機株式会社**

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

TEL 03-5334-4638(代)